

平成 25 年度事業報告書及び事業報告の附属明細書

(旧公益財団法人福岡国際交流協会 分)

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(1) 事業報告

公益財団法人福岡国際交流協会は、市民の相互理解と友好親善を深めるため、下記の3つの柱に基づき各種事業を実施した。

① 市民の国際交流を促進する事業

市民の国際理解・国際協力への意識の高揚を図り、国際交流を推進するため、ボランティア交流推進、語学等を通じた国際理解、姉妹都市交流、国際交流団体のネットワーク推進等を行う。

② 在住外国人を支援する事業

外国人にも住みやすく活動しやすいまちにするため、福岡市中央区天神のイムズビル8階「レインボープラザ」で、国際交流などについての窓口相談や各種情報提供、外国人向けの専門家による相談を実施するほか、日本で生活に必要なマナーやルール、防災知識等を普及する。

③ 外国人学生を支援する事業

福岡都市圏で学ぶ外国人学生が安心して勉学に励むことができるように、奨学金の支給や資金の貸付、福岡学生交流会館の管理運営、外国人学生支援プログラムなどの各種の支援を行う。

① 市民の国際交流を促進する事業

ア ボランティア交流推進

国際交流ボランティア活動を促進し、市民の国際理解や国際感覚を涵養した。

(ア) ホームステイ・ホームビジット

外国人学生を始めとした外国人が、日本人家庭を訪問又は宿泊滞在して交流することにより相互理解と友好親善を図るため、ホストファミリーを登録し、依頼に応じて紹介した。

a 登録家庭 60 家庭

b 利用者 ホームステイ 24 人

(イ) 外国人学生ホームビジット交流

外国人学生と日本人家庭が継続的に(約5カ月)交流し、相互理解と友好親善を図る外国人学生ホームビジット交流プログラムを実施した。

対面式 第1回 平成25年11月10日 福岡学生交流会館大会議室

第2回 平成25年11月17日 イムズ10階セミナー室A

組合せ総数 39組(13カ国・地域)

(ウ) 語学ボランティアの紹介

国際交流の推進と外国人支援のため、語学を生かして通訳や翻訳等のボランティアを行う市民を登録し、依頼に応じて非営利の活動や地域事業に派遣した。

a 登録者数 111 人

b 延べ活動者数 30 人

(エ) 国際交流ボランティア研修

語学ボランティア、ホストファミリーとして登録し活動を行っている国際交流ボランティアに対して、福岡の文化・歴史、国際交流事業、異文化理解、外国人支援など、ボランティア活動に必要な知識や情報を提供するため、研修会を実施した。

第1回

実施日時 平成25年10月6日(日) 13:00～17:00

会場 福岡市美術館講堂、舞鶴公園

研修内容

・講座「黒田官兵衛と福岡」／講師：福岡市美術館学芸課長 中山喜一郎氏

- ・「鴻臚館・福岡城バーチャル時空散歩」ガイドツアー

第2回

実施日時 平成26年3月2日(日) 13:00~17:00

会場 (公財)福岡県国際交流センター「こくさいひろば」

研修内容

- ・講座「官兵衛と福岡：官兵衛ゆかりの福岡を歩く」
講師／福岡市観光案内ボランティア協会会長 脇山静代氏
- ・ワークショップ（黒田官兵衛ゆかりの場所のガイド作成）
- ・オープントップバス博多街なかコース乗車体験

イ 語学等を通じた国際理解

(ア) 留学生から学ぶ外国語教室

市民の国際交流の推進にあたり、留学生を講師として交流の有効な手段の一つである「言葉」の習得を手助けする教室を開催することにより、様々な言語で日常会話ができる程度の語学力を持つ人材を育て、かつ言葉の学習を通じて国際理解・国際交流を深める機会を提供した。

- a 主 催 留学生外国語教室実行委員会
構成団体 (公財)福岡国際交流協会, 福岡外国人学生支援の会,
(特治)アジア太平洋子ども会議・イン福岡
- b 共 催 福岡市
- c 内 容 中国語, 韓国語, ベトナム語, ロシア語等の19言語について30講座を実施
- d 定 員 各クラス 20人 (こども中国語教室は10人)
- e 講 師 福岡在住の留学生
- f 受講者数 524人

(イ) フランス語講座

福岡市の姉妹都市であるフランス・ボルドー市との交流を促進するため、アンスティチュ・フランセ九州と共催でフランス語講座を行った。

- a 主 催 アンスティチュ・フランセ九州
- b 共 催 (公財)福岡国際交流協会
- c 事務局 アンスティチュ・フランセ九州
- d 実施場所 アンスティチュ・フランセ九州
- e 講座数 378講座
- f 受講者数 608人

(ウ) 韓国語弁論大会

韓国文化への理解や日本と韓国の相互交流を深めるため、福岡韓国語弁論大会実行委員会との共催で、福岡都市圏で韓国語を学習する市民を対象に韓国語の弁論大会を開催した。

- a 主 催 福岡韓国語弁論大会実行委員会
構成団体 韓国観光公社福岡支社, 日韓交流博多会, 福岡韓国総合教育院,
福岡県日韓親善協会 他
- b 共 催 福岡市, (公財)福岡国際交流協会
- c 事務局 福岡県日韓親善協会
- d 実施日 平成25年11月17日
- e 出場者 13人
- f 聴講者 100人

(エ) 外国人による日本語スピーチコンテスト

外国人に日本語を学ぶことを奨励し、その成果を顕彰するとともに、日本人と外国人の相互交流・相互理解の場を提供するため、日本語スピーチコンテスト実行委員会と共催で、コンテストを開催した。

- a 主 催 日本語スピーチコンテスト実行委員会
構成団体 日本語学校及び日本語教室 23 団体
- b 共 催 福岡市, (公財) 福岡国際交流協会, 福岡外国人学生支援の会
- c 事務局 (公財) 福岡国際交流協会
- d 実施日 平成 25 年 10 月 20 日
- e 出場者 23 人
- f 聴講者 259 人

(オ) 国際理解教育講師派遣事業

青少年の国際理解の推進・国際力の育成を目的として, 実施主体が管轄する小・中学校等へ留学生等を講師として派遣した。

- a 主 催 福岡国際理解教育講師派遣事業協議会
構成団体 (公財) 福岡県国際交流センター,
(公財) 福岡国際交流協会, (公財) 北九州国際交流協会
- b 事務局 (公財) 福岡県国際交流センター
- c 派遣先 18 校, 1 公民館 (福岡市)
- e 派遣講師 32 人

ウ 姉妹都市交流

(ア) 福岡・イポー青少年交流事業

高校生がホームステイや学校体験等を通じてお互いの生活・文化を体験することにより, 相互理解を図るとともに, 国際的感覚を身につける機会を提供した。

平成 25 年度はイポーからの訪問団を受入 (隔年相互派遣)

- a 実施期間 平成 25 年 12 月 4 日～12 月 12 日 (9 日間)
- b 人 数 10 人 (高校生 8 人, 引率者 2 人)

(イ) 福岡・U S オークランド青少年交流事業

高校生がホームステイや学校体験等を通じてお互いの生活・文化を体験することにより, 相互理解を図るとともに, 国際的感覚を身につける機会を提供した。

平成 25 年度はU S オークランドからの訪問団を受入 (隔年相互派遣)

- a 実施期間 平成 25 年 6 月 28 日～7 月 8 日 (11 日間)
- b 人 数 9 人 (高校生 6 人, 引率者 1 人)

(ウ) グローバル・ギャザリング参加

釜山広域市国際交流財団が釜山広域市において開催する国際イベントである「グローバル・ギャザリング」に参加し, 姉妹都市である福岡を紹介するとともに, 来場者と交流を深めた。

- a 実施日 平成 25 年 5 月 25 日

エ 国際交流団体のネットワーク推進等

(ア) 地球市民どんたく

市民の国際協力・交流に対する理解と支援を得るとともに, 福岡を拠点に国際協力・交流を行う団体間の情報交換と連携を深めることを目的に, N G O 等の団体の活動紹介ブースの設置やワークショップ等を行った。

- a 主 催 地球市民どんたく実行委員会, (公財) 福岡国際交流協会
構成団体 参加団体 (20 団体)
- b 共 催 独立行政法人国際協力機構九州国際センター (JICA 九州), 福岡市
- c 事務局 (公財) 福岡国際交流協会
- d 実施日 平成 25 年 11 月 9 日, 10 日
- e 来場者 約 1,000 人

(イ) 福岡国際関係団体連絡会 (FUKU-NET) 運営

福岡都市圏の国際交流・協力を行う様々な団体のネットワーク組織、各団体間の連携を図り、地域の国際化に寄与することを目的とする。総会、連絡会などを開催した。

a 主 催 福岡国際関係団体連絡会

構成団体 75 加入団体

b 事務局 (公財) 福岡国際交流協会

c 内 容 総会 1 回/年、連絡会 6 回/年

オ 国際交流推進事業

協会の新たな公益事業を展開するために、姉妹都市の情報収集などを行った。

② 在住外国人を支援する事業

ア 一般相談・情報提供

レインボープラザにおいて、国際交流・国際理解・国際協力に関する資料収集・情報提供ならびに外国人への生活情報の提供・相談などを実施。また、ホームページ上においても積極的に情報を発信した。

(ア) 英語、中国語、韓国語、日本語対応による窓口相談

a 来場者数 84,166 人、うち外国人 35,254 人

b 窓口相談 16,644 人、うち外国人 8,124 人

(イ) 外国語報道番組 (CNN) の TV 放映、無料インターネットの利用提供

a インターネット利用者数 2,576 人

(ウ) 図書、新聞、パンフレット等の資料収集・提供

a 図書貸出冊数 1,442 冊

(エ) 外国語情報紙 (英・中・韓) の発行

a 英語版 5,500 部/隔月、中国語版 2,500 部/隔月、韓国語版 2,500 部/隔月

(オ) ホームページ及びメールマガジンによる情報提供

a ページビュー数 321,080 件

イ 外国人専門相談

レインボープラザにおいて、在住外国人の生活上の諸問題について、専門家による無料相談会を実施した。

(ア) 外国人法律相談

法的慣習や文化の違いから、紛争解決に関して一般的に弱い立場に置かれがちな外国人に対し、福岡県弁護士会と共催で法律的な助言、情報提供を行った。また、必要に応じ、通訳を手配した。

a 実施日 第 1・3 土曜日 (2 回/月) 予約制 福岡県弁護士会と共催

b 実施件数 66 件

(イ) 外国人のための入国・在留・国籍に関する相談

外国人の在住のために不可欠な在留資格や住民登録等の行政手続に関する正確な情報と助言を提供した。(英語、中国語通訳が常駐)

a 実施日 第 2 日曜日 (1 回/月) 福岡県行政書士会と共催

b 実施件数 56 件

(ウ) 外国人心理カウンセリング

言葉の問題や生活環境の違いなどから精神的問題を抱える外国人を対象に、問題の解決に向けた臨床心理士による心理カウンセリングを日本語または英語で行った。

a 実施日 月・木・土曜日 (3 回/週) 予約制

b 実施件数 271 回

(エ) 外国人健康相談

健康上の問題を抱えている外国人のために、ボランティア医師の協力で、医学的な助言、指導を日本語または英語で行った。

- a 実施日 毎週水曜日
- b 相談件数 26件

(オ) 福岡在住外国人支援関連機関連絡協議会運営

外国人の生活に密接に関係する機関相互の連携・情報共有を図り、外国人をめぐる諸問題の解決を促進するため、福岡在住外国人支援関連機関連絡協議会を開催した。

- a 主催 福岡在住外国人支援関連機関連絡協議会
構成団体 保健福祉，医療，教育，女性，法律関係等 16 機関

- b 事務局 (公財)福岡国際交流協会

第1回

実施日 平成 25 年 8 月 28 日

議題 「高度人材の育成・活用～外国人の就業にあたり必要な情報・環境とは」
事例報告（九州経済産業局国際部投資交流促進課，福岡県行政書士会，
福岡国際交流協会）

第2回

実施日 平成 26 年 3 月 5 日

議題 「在住外国人女性を巡る課題」
事例報告とディスカッション（特定非営利活動法人アジア女性センター）

ウ 外国人向け広報ラジオ番組

外国人に対して、協会が行う事業やレインボープラザのPRを、多言語ラジオ放送である LOVE FMを通じて、英語・中国語・韓国語の3カ国語で広報した。

(ア) レインボープラザ・インフォメーション（3分番組）

協会が行うイベント情報や生活情報等を、英語・中国語・韓国語の3カ国語により放送した。

- a 放送回数 261回

(イ) スポットCM（20秒番組）

レインボープラザのサービス等を、英語・中国語・韓国語の3カ国語で放送した。

- a 放送回数 123回

エ 在住外国人へのマナー紹介

福岡での在住外国人の快適な生活を可能にするとともに、日本人市民と外国人市民双方の暮らしの安心感を高めるため、新たに福岡に来た外国人を対象に自転車マナー、ごみ出しルール、防犯に関する出前講座を行った。

(ア) 実施主体 (公財)福岡国際交流協会，福岡市（市民局，環境局，各区役所），
福岡県警察

(イ) 実施回数 9回，13講座

(ウ) 実施場所 市内の日本語学校（5校）

(エ) 受講者数 留学生延べ751人

※ また、在住外国人市民を対象としたDVD，インターネット動画による日本での生活に必要なマナーやルール，暮らしのヒントや防災知識の普及を行った。

③ 外国人学生を支援する事業

ア 福岡市レインボー留学生奨学金

国際交流活動や地域活動を通じた相互理解の深化に意欲のある優秀な留学生の学習環境を整

え、留学生と市民との交流の機会を増やすことにより、地域の国際化と留学生と市民との相互理解に寄与するために奨学金を支給した。

- (ア) 支給金額 20,000 円／月
- (イ) 支給人員 115 人
- (ウ) 支給対象期間 1 年間

※ また、福岡市からの奨学金であることを認識し、福岡とのつながりを強く感じてもらうため、当該奨学金受給者に対し、受給者証授与式を実施した。

イ よかトピア留学生奨学金

(公財)よかトピア記念国際財団からの寄付金をもとに、地場企業との交流や就業体験を通じて地場企業への海外高度人材の定着と地域の国際化・活性化に寄与するため、福岡で就業を希望する留学生に奨学金を支給した。

- (ア) 支給金額 60,000 円／月
- (イ) 支給人員 2 人
- (ウ) 支給対象期間 1 年間

ウ 留學生育英奨学金

福岡都市圏で学ぶ留学生が安心して勉学に励むことができる環境づくりを生活資金面から支援するために、団体や企業、個人からの寄付金により奨学金を支給した。

- (ア) 支給金額 大学院生 年額 50 万円以上、学部生 年額 30 万円以上
- (イ) 支給人員 6 奨学金、8 人 (延べ 280 万円)
- (ウ) 支給対象期間 1 年間 (寄付者の希望により継続あり)

※ また、奨学金事業を円滑に推進するため、企業市民と留学生 (奨学金受給者) の交流の機会とするサロンを合わせて実施した。

エ 留學生資金貸付

福岡都市圏で学ぶ留学生が、生活費、住宅費、医療費、学費、一時帰国費等で、一時的、臨時的に多額の出費が必要な場合に資金の貸付を行うことにより、安定した勉学ができるよう支援を行った。

- (ア) 貸付限度額 200,000 円
- (イ) 貸付利息 無利息
- (ウ) 返済方法 20 カ月以内の毎月返納
- (エ) 連帯保証人 1 名要
- (オ) 貸付金額 1,607,000 円
- (カ) 貸付人数 9 人

オ 福岡学生交流会館管理運営

福岡都市圏に所在する大学に在籍する外国人学生の世帯向けに比較的安価で良質な住居を提供するとともに、留学生及びその他の外国人と市民との交流並びにその他の国際交流の促進に資する事業を行う場を提供した。

- (ア) 所在地 博多区店屋町 4 番 1 号 (4, 5 階)
- (イ) 施設概要 4 階 国際交流フロア (貸会議室等 5 室)
5 階 世帯用宿舎 (2DK 5 戸)
- (ウ) 利用者数 23,065 人
- (エ) 利用回数 2,630 回

カ 「あったか福岡」外国人学生支援プログラム

外国人学生が有意義な生活を送ることができる環境づくりを推進するため、市民や企業、各種団体からなる「福岡外国人学生支援の会」や福岡市と協力し、交流事業を実施した。

- (ア) 主 催 福岡外国人学生支援の会
- (イ) 共 催 (公財) 福岡国際交流協会
- (ウ) 事務局 (公財) 福岡国際交流協会
- (エ) 実施日 日本語おしゃべりサロン 第1・3木曜日(2回/月)
外国人学生が語るふるさとの街と福岡 第3木曜日(1回/月)
外国人学生歓迎交流事業 平成25年11月2日

④ 理事会及び評議員会の開催状況等

会議名	開催日	内容
理事会	H25. 4. 24	議案審議(決議の省略による) ・評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦に関する件 ・監事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦に関する件 ・評議員会の開催に関する件
評議員会	H25. 5. 2	議案審議(決議の省略による) ・評議員の選任に関する件 ・監事の選任に関する件
理事会	H25. 5. 24	報告 ・決議の省略に関する件 議案審議 ・平成24年度事業報告及び決算に関する件 ・定時評議員会の開催に関する件
評議員会	H25. 6. 17	報告 ・決議の省略に関する件 ・平成24年度事業報告及びその附属明細書に関する件 ・平成25年度事業計画及び収支予算等に関する件 ・公益財団法人よかトピア記念国際財団との統合(合併)に関する件 議案審議 ・平成24年度貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)、これらの附属明細書及び財産目録に関する件
理事会	H25. 11. 1	議案審議 ・公益財団法人よかトピア記念国際財団との合併契約に関する件 ・臨時評議員会の開催に関する件 報告 ・合併後の公益財団法人よかトピア記念国際財団の定款等について
評議員会	H25. 11. 13	議案審議 ・公益財団法人よかトピア記念国際財団との合併契約に関する 報告事項 ・合併後の公益財団法人よかトピア記念国際財団の定款等について

(2) 事業報告の附属明細書

記載すべき事項は、ありません。